

シンガポール | 銀行セクター | 業績レビュー

BLOOMBERG OCBC SP | REUTERS OCBC.SI

- 2015/12 期 3Q (7-9 月) は営業収益が前年同期比 2.2%増の 20.92 億 SGD、純利益が同 26.8%減の 9.0 億 SGD となった。
- セグメント別の営業利益は、インベストメント・バンキング部門、トレジャリー部門やインシュアランス部門が減益となったが、コンシューマー・バンキング部門が大幅に増益となった。
- 2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 23.9%減の 85.5 億 SGD、純利益が同 1.3%減の 37.9 億 SGD である。2016/12 通期の市場予想は 2015/12 通期に比べ営業収益が 6.4%増の 91.0 億 SGD、純利益が 2.3%増の 38.8 億 SGD である。

What is the news?

2015/12 期 3Q (7-9 月) は営業収益が前年同期比 2.2%増の 20.92 億 SGD、純利益は前年同期に会計方針変更から計上した特別利益がなくなったため同 26.8%減の 9.0 億 SGD となった。ただし、この特別項目を除くベースのコア (中核) 利益では同 7.3%増の 9.0 億 SGD と増益である。インシュアランス (保険) 部門が低迷したが、バンキング部門の利益が大幅に拡大し増益となった。貸出残高は多くの業種向けや海外も含め拡大し同 3.9%増の 2,130 億 SGD となるなど収益を押し上げ、純資金利益は同 5.7%増の 13.2 億 SGD となった。預金残高は同 6.3%増の 2,520 億 SGD、不良債権比率は 0.9%と引き続き健全な財務状況となっている。

セグメント別の営業利益をみると、コンシューマー・バンキング部門は前年同期比 21.4%増の 2.33 億 SGD、インベストメント・バンキング部門が同 11.1%減の 4.40 億 SGD、トレジャリー部門が同 13.9%減の 2.11 億 SGD、インシュアランス部門が同 58.8%減の 0.87 億 SGD となった。ローン業務は好調で手数料収入やトレーディング収益が大幅に拡大した。

How do we view this?

同社はシンガポール、マレーシア、インドネシア、中国といった重点地域に焦点を合わせ、堅調な業績確保が見込まれる。また、健全なバランスシート、強固なリスク管理により長期的な収益拡大が期待される。2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 23.9%減の 85.5 億 SGD、純利益が同 1.3%減の 37.9 億 SGD である。2016/12 通期の市場予想は 2015/12 通期に比べ営業収益が 6.4%増の 91.0 億 SGD、純利益が 2.3%増の 38.8 億 SGD である。

業績推移

※参考レート 1SGD=7.720円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
営業収益(百万SGD)	10,232	8,946	11,243	8,552	9,099
純利益(百万SGD)	3,993	2,768	3,842	3,793	3,880
EPS(SGD)	1.10	0.76	1.02	0.93	0.94
PER(倍)	7.02	10.16	7.57	8.30	8.21
BPS(SGD)	6.49	6.72	7.46	8.02	8.57
PBR(倍)	1.19	1.15	1.03	0.96	0.90
配当(SGD)	0.32	0.33	0.36	0.36	0.37
配当利回り(%)	4.15	4.27	4.66	4.66	4.79

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.36 (予想はBloomberg)
株価(SGD) 7.72 2016/1/22

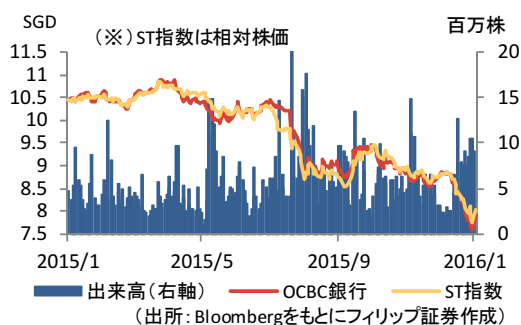
会社概要

金融、投資銀行業、プライベートバンキング、証券仲介、資産および現金管理、保険、クレジットカードの業務を取り扱っている。

シンガポールの銀行では第2位として、世界18か国・地域で事業展開している。オーバーシー・チャイニーズ銀行NISP(インドネシア)、シンガポールとマレーシアでの最大手の保険会社である大東方ホールディングス、アセットマネジメントのライオン・グローバル・インベスターズを保有している。

会社データ(2016/1/22)

ベータ値 0.97
時価総額(百万SGD) 32,624
企業価値=EV(百万SGD) -
3か月平均売買代金(百万SGD) 52.30



主要株主(2016/1)

(%)
1. Selat Pte Ltd. 10.57
2. Aberdeen 4.84
3. Lee Foundation Singapore 4.15
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。